

旬の話題

■ JAXA宇宙飛行士候補者が決定! 月面を目指すプロジェクトが進行中

2021年11月にスタートしたJAXA宇宙飛行士の募集には、4,000人以上の応募があり、約1年の選考を経て、宇宙飛行士候補者に決定した2名が発表されました。選ばれたのは、世界銀行に勤める諏訪理さんと、日本赤十字社医療センター医師の米田あゆさんです。

今回の選抜は将来の月面探査も視野に入れて行われました。月面そっくりに再現された会場で、月面に降り立ったときの感想を述べるという試験もあったそうです。表現力やプレゼンテーション能力が重要視されたといえます。

一方NASAでは、「アルテミス2」計画で月を周回するプロジェクトに挑む飛行士4人が発表されました。2024年の11月頃に地球を出発し、月を周回して約10日後に帰還する予定です。人類が再び月へ降り立つ日が着々と近づいています。



▲画面越しに握手する米田さん(左)と諏訪さん(右)



▲アルテミス2クルーの写真。左からクリスティーナ・コック氏、レイド・ワイスマン氏(前)、ビクター・グローバー氏(後)、ジェレミー・ハンセン氏

観望会のご案内

札幌市天文台

【住所】札幌市中央区中島公園1-17(コンサートホールKitaraと豊平館の間)
【休台日】月曜日、火曜日午後、祝日の翌日
【お問い合わせ】☎011-511-9624(札幌市天文台)

★昼間公開

日程

火曜日 10:00~12:00
水曜日~日曜日
①10:00~12:00
②14:00~16:00

観望対象

太陽、昼間に見える星



▲札幌市天文台では口径20cmの屈折望遠鏡で星を観望することができます。

★夜間公開 ※電話予約が必要です(科学館 ☎011-892-5004)

8月分の夜間公開からweb上で予約できるようになります。詳しくは、科学館ホームページでご確認ください。

6月の日程

※6月は夜間公開がありません。

7月の日程

7月14日(金)~16日(日)
20:00~22:00
(受け付け6月15日9:00~)

観望対象

夏の星座の星

8月の日程

①8月4日(金)~6日(日)
②8月18日(金)~20日(日)
20:00~22:00
(受け付け7月15日9:00~)

観望対象

①夏の星座の星
②夏から秋の星座の星

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生理学振興財団)



【休館中仮事務所】〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10(ちえりあ内)
【TEL】011-892-5001 【FAX】011-894-5445 【ホームページ】https://www.ssc.slp.or.jp/

長期休館のお知らせ

展示物大規模リニューアル・施設の長寿命化等のための改修工事に伴い、2022年8月22日より休館しています。(〜2024年3月末予定)

札幌市青少年科学館天文情報リーフレット

星空散歩

HOSHIZORASAMPO

2023年
夏号
Vol.106

今回の表紙写真は **沈みゆく夏至の夕日。札幌。**

一年で昼が一番長い夏至の日。日の出3:55から日の入り19:18までの長い時間、私たちを照らしてくれた太陽に「ありがとう」の気持ちを込めて、シャッターを切りました。

撮影者：福留香 撮影日：2021年6月21日 撮影地：札幌市桑園
データ：Canon EOS Kiss X5 / EF-S55-250mm
焦点距離250mm F5.6 ISO800 シャッタースピード1/3200秒

表紙の写真募集中!

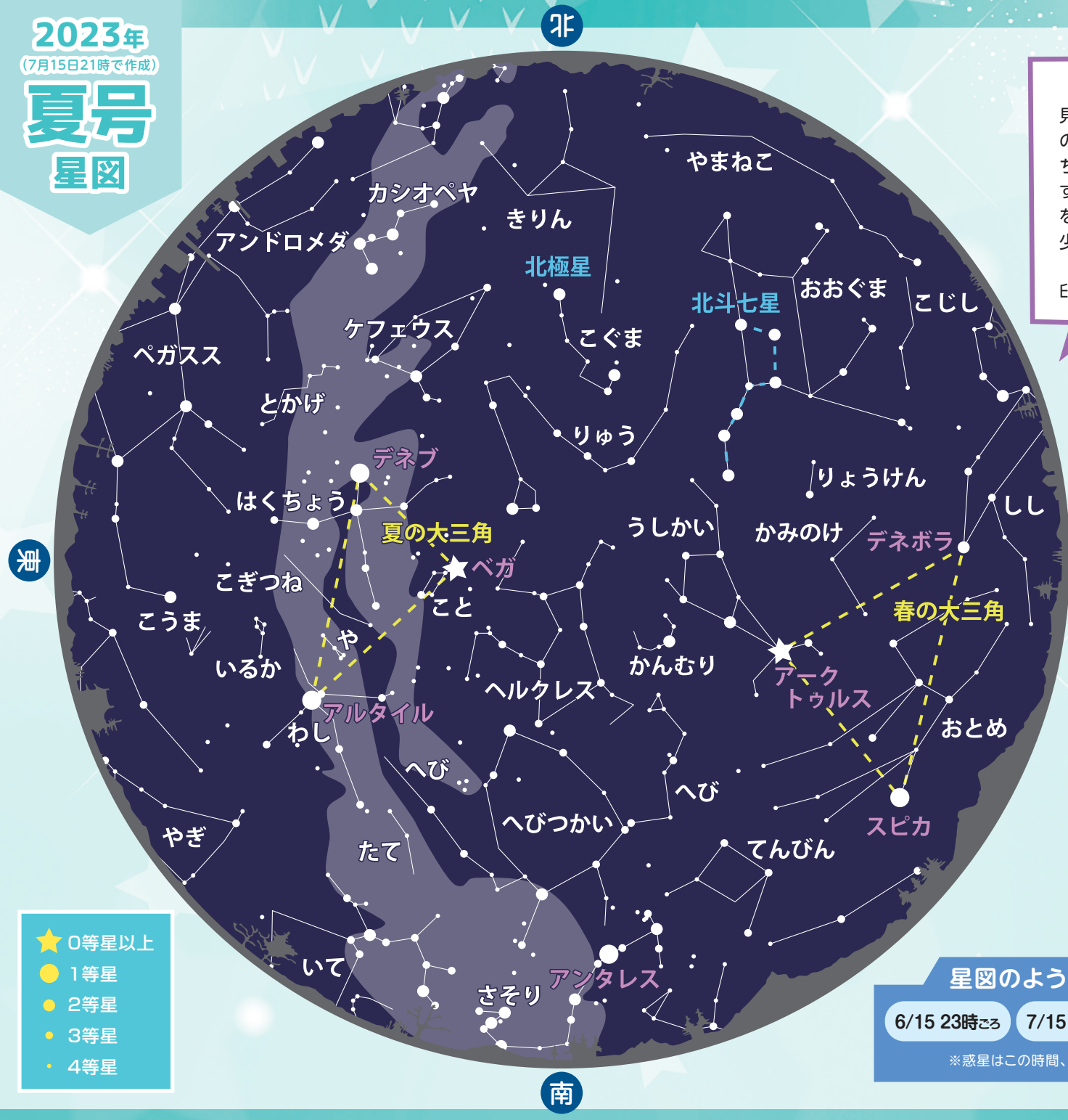
あなたの写真が表紙になるかも!

詳しくは...

札幌市青少年科学館 星空散歩

検索





夏は天の川がきれいに見える季節です。その両岸で見つめ合うように輝く織姫と彦星として知られる、こと座のベガとわし座のアルタイル。そしてそばで見守るはくちょう座のデネブを加えると夏の太三角になります。まずは一番明るいベガを見つけましょう。そこからこぎしを2つ重ねたくらいの位置にあるデネブが見つければ、少し長い三角形を描いてアルタイルも見つけられます。南の低い位置には、赤く輝く1等星のアンタレスが目印のさそり座があります。

星図の使い方

①星図は空にかかげて使います。
②空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。

南を向いている場合
東を向いている場合
北を向いている場合
西を向いている場合

星図のように見える時刻

6/15 23時ごろ 7/15 21時ごろ 8/15 19時ごろ

※惑星はこの時間、見ることができません。

月のかたち

● 満月 6/4、7/3、8/2、8/31
◐ 下弦 6/11、7/10、8/8
● 新月 6/18、7/18、8/16
◑ 上弦 6/26、7/26、8/24

星を見よう!

今年一番明るく輝く金星

7月7日の七夕の日に、ちょうど金星が最大光度を迎えます。7月7日の金星の明るさはマイナス4.5等級程度とかなり明るく、夕方の薄暗い時間からでも肉眼で見つけることができます。夕方に見られる金星は「宵の明星」とも呼ばれます。また望遠鏡で金星を観察してみると、月のように満ち欠けをしている様子もわかります。このころは、三日月のように欠けた形の金星が見られます。

▲望遠鏡で見た金星 (科学館屋上で撮影)

星座のおはなし

りゅう座のおはなし

りゅう座はギリシャ神話に登場する100の頭を持つラドンというドラゴンが描かれた星座です。ヘラクレスの12の冒険物語の中に登場します。星座絵では頭は100個も描かれていませんね。ヘラクレスの12の冒険のうち11番目は、黄金のりんごを取ってくるというものでした。ヘラクレスはヒドラの毒を塗った矢を使って、りんごを守っていたラドンの100の頭をひとつずつ退治していき、黄金のりんごを手に入れました。一説にはラドンの口の中にハチの巣を投げ込んで退治した、なんて話もありますよ。

みつけかた

明るいこと座のベガと北斗七星の間を探していきましょう。ベガの近くに、りゅうの頭の部分の小さな四角形の星並びがあります。そこからこぐま座を囲むように胴体があり、しっぽの先が北斗七星の近くまでのびています。細長いりゅうの姿をイメージしてみましょう。りゅう座は一年中、北の空で見られます。高く昇る夏が特におすすめです。